

田富小だより

令和3年度
第2号
5月27日
田富小学校



令和3年度の教育活動が始まってから、早40日が過ぎようとしています。5月の「あまり心の底から楽しむことができなかつた？ゴールデンウィーク」も終わり、本格的に学習に取り組める時期になりました。新しい学級、新しい先生とも次第に心通わせられるようになってきたことと思います。中には、新しい学年の学習や周囲の友達との関係が少し難しい子もいるかもしれません。もし、心配事やお気づきの点がありましたら、担任までご連絡をいただければと思います。さて、学校が目指すところは健全な子ども達の成長です。その大きな目標達成のために下の学校経営方針もあります。学校と家庭が協力しながら、「こども達の健全な成長」を育てていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和3年度学校経営方針

前回のたよりにも書きましたが、今月は、令和3年度の田富小学校学校経営方針についてお話ししたいと思います。「学校経営方針」とは『教育目標を達成するための学校経営計画の戦略を明らかにしたもの』です。

◆学校経営の基本

山梨県は、以下に示す「令和3年度学校教育指導重点において、次の5つの指導重点を示しています。5つの重点の根底にあるのは学級経営の充実であり、これは県でも昨年度同様、力を入れているところです。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ① 確かな学力の育成 | } 学級経営・
ホームルーム経営の充実 |
| ② 豊かな心の育成 | |
| ③ 健やかな体の育成 | |
| ④ 地域や世界で活躍できる人材の育成 | |
| ⑤ 特別支援教育の推進 | |

中央市は、「中央市教育振興計画」(第2次計画 令和2~11年度)を策定し、「まごころを育む教育」を柱として、以下の項目を重点目標としています。

まごころ		
生きる力をはぐくむ教育(生)	命を大切にする教育(命)	信頼しあう教育(信)

◆校訓 明るく 直く すこやかに

これらを受け、本年度は下に示すような学校教育目標と子どもの育ちのめあてを定め、これの実現に向けて取り組んでいきます。

◆学校教育目標と子どもの育ちのめあて

【学校教育目標】	【子どもの育ちのめあて】
生きる力をもつ子ども	自分でできることを増やそう(自分で)
命を大切にする子ども	みんなとなかよくしよう(ともに)
共に生きる子ども	みんなのために働こう(ために)

「生きる力をもつ子ども」=自立してたくましく生き抜く資質・能力をもつ子ども(自立)

「命を大切にする子ども」=自他を尊重しながらよりよく生きる資質・能力をもつ子ども(共生)

「共に生きる子ども」=他のために働く資質・能力をもつ子ども(奉仕・貢献)

◆今年のメッセージ

聞いて考え、語り合う子は伸びる

読む子は伸びる

書く子も伸びる

学びを進める!

～「やってみるじゃんノート」と「つなげる日記」～

昔に比べ、自己決定できない子が増えているように思ひます。自分で解決しなければならぬ課題に出会った時、「どうやってやるの?」「わかんないから教えて」と、すぐに助けを求めるところをよく見かけるのです。田富

小が自主学習の一環として行っている自学ノート「やってみるじゃんノート」について、少しお話ししましょう。このノートで行う学習課題は個人で決定するものです。先日、1冊終わったので提出にきた女児がいました（このノートは1冊終わった時に、本人が校長室に提出に来ます。校長は内容を見て、子どものがんばりを讃え、ミニ賞状と図書貸し出し2冊プラス券をプレゼントして、「また頑張るね」と話します）。内容を見るとかけ算の筆算が多く、学習の大部分を占めていたので、そのことについて訊くと、「私は筆算が苦手だから、問題を多くやって得意になりたい」といった内容を話してくれました。自分自身を分析して、何を学習すべきかを考え、すべきことを明らかにし、長期間にわたってそれに取り組む。実にすばらしいことではないでしょうか。他にも、興味をもったことについての詳細な調べ学習をしたり、教科書などの文章を視写したり…と様々です。しかし、何をしたらいいのかわからないという声もやはり聞くのです。そんな子ども達にも自分で学習を進めていく力を少しずつつけていこうと考えています。

次に、「つなげる日記」についてです。これは、自分自身を振り返り、次につなげていくという一連の流れを子ども達の生活の中に位置づけていくことがめあてです。勉強をはじめ、自分の生活や、自分を取り巻く自然・社会について心に残ったこと、気になったこと、新しく発見したことなどを書き綴るのです。繰り返し書き綴ることによって子ども達の学習内容や心にあるものが、次に繋がり、こういった活動の繰り返しの中で成長していくというわけです。また、教師は子ども達の学習や生活に関して綴られた文章の中に、様々な学習指導・生徒指導要素を見つけることができるという大きなメリットもあるのです。

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、その社会を生き抜くために必要な資質・能力を育むことも今日の小学校での学習になるのです。そのためのひとつとして、自ら進め、振り返り、次に繋げる学びをこれからも実践していこうと考えています。

4・5月の行事フレイバック

◆4月15日から1年生も給食を食べています。カレーや揚げパンなど人気メニューもあり、おいしくてたくさん食べすぎる子もいるくらいです。初日から自分たちで配膳をして、片付けもがんばっています。配膳室を出るときに「ごちそうさまでした」と元気に挨拶してくれるのがとてもうれしいです。



◆4月22日には、3年生を対象とした自転車教室が開かれました。南甲府警察署、安協田富支部、守り隊の方を講師に迎え、自転車の乗り方について指導を受けました。交差点での一時停止、信号機のある4つ角での2段階右折など、信号に従うことやいつでも安全確認を怠らないことなどについて学ぶことができました。この教室で学んだことをぜひ日常生活の中で実践してほしいと思いました（ヘルメットは必ずかぶりましょう）。



◆最後は、児童総会（5月14、17日の2日間）です。児童会会員が全員出席することによる密集を避けるため、各学級代表委員が参加する形での話し合いでした。本部の原案に対して、ほとんどが賛成意見でしたが、きちんと理由をつけながらしっかりと発言できていました。話し合われたことを日々の生活の中で実行していくこと、全校で協力していくことなど、6年生のリーダーシップのもと、1年間取り組んでいってほしいと思います。活力ある田富小学校をつくってほしいと思いました。